

日本認知言語学会第13回全国大会プログラム 【1日目】

9月8日(土) 受付9時30分から(3号館0112にて)

		第1室	第2室	第3室	第4室	
		3号館0101	3号館0103/04	3号館0111	3号館0114	
ワークショップ	10:00 12:20	<テーマ> 場の言語学とは何か	<テーマ> 「見立て」から考える 日本語と日本文化の 相同性—比喩との相 違を視野に入れて—	<テーマ> 身体経験に基づいた 文法研究の可能性	<テーマ> 認知言語学とメタ ファー研究の産業的 応用—事例から見る その潜在力と展望—	
		○岡 智之(東京学 芸大学)・大塚正之 (早稲田大学)・河野 秀樹(目白大学)・井 出祥子(日本女子大 学)・櫻井千佳子(武 蔵野大学)	○池上嘉彦(昭和女 子大学)・守屋三千代 (創価大学)・百留康 晴(島根大学)・百留 恵美子(台湾国立高 雄第一科技大學)	○町田 章(広島大 学)・大谷直輝(埼玉 大学)・田村幸誠(滋 賀大学)・濱田英人 (札幌大学)	○鍋島弘治朗(関西 大学)・水口洋二(サ ントリー)・望月理香 (NTTサイバーソ リューション研究所)・ <司会>荒川洋平 (東京外国語大学)	

昼食休憩(12:20~13:10)

会長挨拶 (13:10~13:20)	山梨正明 本学会会長 (会場: 1号館0301)
--------------------	--------------------------

開催校挨拶 (13:20~13:30)	太田政男 大東文化大学長 (会場: 1号館0301)
---------------------	----------------------------

特別講演 (13:30~15:30) 会場: 1号館0301	講師: Professor Gilles Fauconnier (カリフォルニア大学サンディエゴ校) 司会: 鍋島弘治朗 (関西大学)
	演題: Mysteries of meaning construction

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室
		3号館0101	3号館0103/04	3号館0106/07	3号館0111	3号館0114
司会		木下りか (大手前大学)	上原聡 (東北大学)	眞田敬介 (札幌学院大学)	谷口一美 (京都大学)	松本曜 (神戸大学)
第1発表	15:50 16:25	①「[[X]動詞連用形]複合語の意味用法に関する一考察—付加詞複合語と解釈される例を中心に—」葉秉杰(東北大学[院])	①「Vテイルの叙法論的分析」高島彬(札幌大学[院])	①「英語副詞の通時的意味変化に見られる放射状パターンとその認知的制約」小笠原清香(立教大学[院])	①「英語の移動使役構文における意味制約再考—動詞の多義性とサブ構文」中尾朋子(大阪大学[院])	①“Constructions of Emotion in Taiwan Southern Min”CHEN Chiung-Hao (National Taiwan University[院])
	16:25 17:00	②「複合動詞「~抜く」の意味と用法—認知言語学の意味関連の観点から—」許臨揚(名古屋大学[院])	②「多義語ウエの意味的分析—空間名詞・形式名詞・複合辞としてのウエ—」長谷部亜子(愛知学院大学[院])	②「英語前置詞byの意味ネットワークにおける〈差分〉用法について」平沢慎也(東京大学[院])	②「移動表現の類型論の拡張: 着衣動詞の類型論」伊藤彰規(神戸大学[院])	②“Relation of Language to Cognition: Evaluative Construction in Taiwan Mandarin”WANG Chun-Chieh (National Taiwan University[院])
第3発表	17:00 17:35	③「複合動詞「Vかかる」の意味拡張—(起点—経路—到達点)スキーマにおける「移動」の視点から—」朴龍徳(大東文化大学[院])	③「粒度 (granularity) 変化と関わる日本語時間表現の認知的考察—「頃」の分析を中心に—」田口慎也(京都大学[院])	③「語彙の多義性を再考する: 前置詞の意味と機能の連続性を中心に」大谷直輝(埼玉大学)	③「コーパス頻度に基づく英語の副詞使役移動構文に関する分析」森下裕三(神戸大学[院])	③“The sound symbolic nature of Japanese maid names”篠原和子(東京農工大学)・川原繁人(Rutgers University)

懇親会(18:10~20:10) 会場: グリーン・スポット

※1日目・2日目ともに、3号館0109・0110にて書籍展示を行います。

日本認知言語学会第13回全国大会プログラム 【2日目】

9月9日(日) 受付9時10分から (受付は1日目に受付を済まされていない方だけで結構です)

		第1室 3号館0101	第2室 3号館0103/04	第3室 3号館0106/07	第4室 3号館0111	第5室 3号館0114
司会		阿部宏 (東北大学)	李澤熊 (名古屋大学)	鈴木智美 (東京外国語大学)	三宅登之 (東京外国語大学)	和田尚明 (筑波大学)
第1発表	9:30 10:05	④「談話的観点による与格構文の一考察—フランス語の部分の与格構文の出現条件をめぐって—」川上夏林(京都大学[院])	④「固定を表す他動詞の空間的特徴に関する考察—日本語「はめる」と韓国語「KKIUDA」の比較を中心に—」安在珉(京都大学[院])	④「ガマンズルとタエルの類義語分析—力動性の観点から—」滝理江(名古屋大学[院])	④「中国語の感情形容詞述語文“他很高兴”は何を表しているのか—表出性指標に基づく感情形容詞機能の判別方法の提案—」王安(関西学院大学)	④“A corpus-based approach to competitions between synonymic expressions: with special reference to English copulative perception verbs”中村文紀(慶應義塾大学[院])
第2発表	10:05 10:40	⑤「フランス語のメタファー表現の形式的制約—対義語ペアの種類別分析を通して—」治山純子(東京農工大学[非常勤])	⑤「Verb-Framed Languageから見た日本語・韓国語の複合動詞の違い」ソン・ミンジョン(東京大学[院])	⑤「「おいしい」と「変」の類義語分析—「評価性」と「判断基準の活性化の度合い」に注目して」関ソラ(名古屋大学[院])	⑤「日・中における被害・迷惑にかかわる受身と放任・許容の使役の接近性について—認知類型論的立場からの分析—」黒田弘美(南山大学[院])	⑤“Language, culture and cognition: death-related worldview and organisation of tense”豊田純一(University of Belgrade)
10分休憩						
司会		村尾治彦 (熊本県立大学)	宇野良子 (東京農工大学)	加藤重広 (北海道大学)	坪井栄治郎 (東京大学)	本多啓 (神戸市外国語大学)
第3発表	10:50 11:25	⑥「中国語の結果構文にみられる主体化」楊明(フリー)	⑥「コンストラクション形態論から見た日本語の促音便複合動詞」史春花(神戸大学[院])	⑥「「XはYでありながらZ」で示す主体属性との非親和性」梶川克哉(名古屋SKY日本語学校)	⑥「認知文法のカテゴリー化のメカニズムから捉える連体修飾構文」神澤克徳(京都大学[院])	⑥「日本語話者が好む公共広告の表現—日英<事態把握>の観点から—」田中優美子(昭和女子大学[院])
第4発表	11:25 12:00	⑦「結果構文の特殊例について—He pushed open the doorを中心に—」森藤庄平(愛知県立大学[非常勤])	⑦「英語名詞由来動詞に関するフレーム意味論的考察」中島浩貴(神戸大学[院])	⑦「非有生名詞主語の「見る」構文:「場—参与者」概念を援用して」高橋暦(名古屋大学[院])	⑦「Opposed termsを基にしたオクシモンの分類」伊藤薫(京都大学[院])	⑦「距離から共同注意へ—「聞き手の注意」を用いた「中距離指示」のソ系の再分析—」平田未季(北海道大学[院])
第5発表	12:00 12:35	⑧「英語結果構文における再帰代名詞の生起条件に関する一考察」浅井良策(大阪大学[院])	⑧「身体的経験からみた助数詞の使用の認知言語学的考察」濱野寛子(京都教育大学[非常勤])	⑧「なぜ罪を着たり着せたりできるのか—他動詞と二重他動詞ペアの意味拡張をめぐって—」夏海燕(神戸大学[院])	⑧「カテゴリー想起構文としての「Aか何か」」野呂健一(高田短期大学)	⑧「手触りの質を表すオノマトペの有効性—感性語との比較を通して—」坂本真樹(電気通信大学)・渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)・東京工業大学大学院

昼食休憩(12:35~14:05 ポスターセッションを含む)

ポスターセッション (15件同時進行/教室は全て3号館)	12:50 13:50	「否定的な意味を表す使役動詞補文での前置詞fromの変異」友次克子(静岡理工科大学)	「否定と接辞化にまつわる類義性:動詞由来のun- 形容詞とdis- 形容詞の競合」浜田啓志(慶應義塾大学[院])	「「have a V構文」における構文の創造的拡張」井口智彰(広島大学[院])	「程度と頻度と感情と—副詞・前置詞・接続詞・間投詞の接点—」平岩加寿子(愛知県立大学[院])	「文法化した動詞派生前置詞の認知的基盤—「身体性」の観点から—」林智昭(京都大学[院])
	13:50 14:15	「事態把握と主体の関係性に関する一考察—辞書における知覚語彙の日英比較を通して—」田所優花(立教大学[院])	「「似て非なる」をあらわす否定接頭辞に関する日英対照研究」久保圭(京都大学[院])	「類義語「あっさり」「さっぱり」の相違について」陳帥(名古屋大学[院])	「韓国語の「-n kes-ita」文の多義性について—「主題—解説」構造の観点から—」李英蘭(東京大学[院])	「動詞「持つ」の自/他動性と認知変化」川島嘉美(石川工業高等専門学校/金沢大学[院])
	14:15 14:45	「知覚構文の教え方を認知言語学を参照して整理する」今井隆夫(愛知県みずほ大学)	「イメージ・スキーマに基づく句動詞指導の実践例」中川右也(米子工業高等専門学校)	「ことわざの変形に関する認知言語学的考察」杉本巧(広島国際大学)	「言語外の意味の理解プロセス—知覚情報を含む要素統合モデル—」斎藤幹樹(早稲田大学[学部])	「日本語「ラレル」文とロシア語再帰動詞文が表す意味の共通性に関する一考察」松井一美(立命館アジア太平洋大学)・ヴォロビヨワ・ガリーナ(キルギス民族大学)

総会(14:05~14:15) 会場: 1号館0301

シンポジウム (14:15~16:55) 会場: 1号館0301	テーマ: 意味の獲得・変容・喪失: 認知言語学と関連分野との対話 司会・講師: 辻 幸夫 (慶應義塾大学) 講師: 今井むつみ(慶應義塾大学)・大槻美佳(北海道大学)・堀江 薫(名古屋大学)
--	---

閉会挨拶(16:55~17:00) 会場: 1号館0301